

【認知症サポーター養成講座】 ～オレンジの輪を広げよう！～



【開催日】 2月26日(金) 10:00～11:30

【講師】 ビオラ市が尾地域ケアプラザ職員
地域のキャラバンメイト

ビオラ市が尾地域ケア
プラザとの連携事業

【参加者】 20名・・・40歳以下 13% 41-64歳 37% 65歳以上 50%

【認知症とは】

☆認知症は脳の病気で誰もがかかる可能性がある。

☆2025年、認知症の人は700万人(65歳以上高齢者の20.6%)

☆65歳以上から発症率が上がり、85歳以上では4人に1人が発症する可能性がある。



【認知症の方への接し方、家族の気持ち・・・家族の介護体験者のお話】

★認知症の人の家族の気持ち

【Ⅰとまどい・否定】→【Ⅱ混乱・怒り・拒絶】→【Ⅲ割り切り】→【Ⅳ受容】

★介護者にとって大切なことは、

- ① デイサービスやショートステイなどの公的サービスを利用して一人になれる時間を持つ
- ② オン・オフを大切にして自分の時間を楽しみながら、介護に向き合う
- ③ 専門家のアドバイスや地域のサポートなどを上手に活用する

【参加者にご協力いただいたアンケートから】

・・・『大変良かった 56%』『良かった 25%』→81%

☆改めて早期の治療・予防の大切さを感じた。認知症の方への正しい接し方を学べて良かった。これからの人生も豊かでありたいと思った。

☆実際の介護の状況を年系列で紹介してもらえて、認知症の兆候から生活に支障をきたす段階がイメージできた。

☆体験に基づいたお話は身につまされました。一人になれる時間を持つことは大切なことなのですね。メリハリは大事、人に頼っても良さそうですね。

☆講師の方の貴重な体験談をお聞きして勇気が湧いてきました。